

将来の担い手！富山工業高校 1 年生が港湾工事の現場を見学

平成 29 年 9 月 5 日 (火)、北陸地方整備局伏木富山港湾事務所、(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部及び富山県港湾建設協会の共催で、富山県立富山工業高校土木工学科 1 年生の 40 名を迎え、伏木富山港新湊地区 国際物流ターミナル延伸整備事業の棧橋鋼管杭打設工事の現場見学会を実施しました。

これは港湾関係直轄事務所と(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部が若手技術者の確保・育成等のため立ち上げた「北陸の港湾空港活性化に向けた検討会」と、建設業界の担い手確保のため産学官で立ち上げた「北陸建設業界の担い手確保・育成推進協議会(富山県部会)」の毎年の取り組みの一つとなっています。

はじめに、弊事務所新湊出張所「みなとふれあい館」において、弊事務所職員から本事業の目的と概要を、施工業者からは棧橋鋼管杭打設の工事概要の説明を行いました。

この工事の鋼管杭打設は、鋼管杭の先端からジェット水を噴射しながら打設し、鋼管杭と地盤とを密着させるために一部をセメントミルクで固める CJV 工法(セメントジェットパイプロ工法)により施工しています。

工事現場では、延長 53m、直径 1.1m の鋼管杭にウォータジェット水配管の取り付けしている状況を見学し、その後、既に打設された鋼管杭の状況及びセメントミルクを配合するプラントを見学しました。

見学後の意見交換会では、「この工事は計画から完成まで何年かかるのか?」「セメントミルクと海水は混ざらないのか?」「事故等はないのか?」などの事業、技術、安全と幅広い内容の質問がありました。

また、女子生徒からは、「女性の活躍の場はあるのか?」、「何人くらい女性は働いているのか?」など将来の仕事を意識した質問がありました。

今回の見学会が生徒の将来の仕事を考える一助になり、それが北陸の港湾活性化の担い手へとつながることを期待しています。

